

(倫理様式 2-2-1)

単施設研究用

## 脳卒中患者の早期経口摂取に向けた 1 週ごとの嚥下評価の有用性

### 1. 研究の対象

2011 年 6 月から 2023 年 5 月までに回復期リハ病棟に経鼻経管栄養(鼻から管で栄養をとる方法)で入院した脳卒中患者。死亡や入院中に状態悪化した方は除外します。

### 2. 研究目的・方法

近年、リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理は、治療過程において大変重要とされています。当院の回復期リハビリテーション(リハ)病棟では、患者の早期経口摂取に向けて嚥下機能の変化を的確に捉えられるように、2017 年 6 月より言語聴覚士が嚥下障害患者に対して 1 週ごとに藤島嚥下グレード評価を実施しています。その取組みの有用性を明らかにすることを目的としています。今回の調査には、回復期リハ病棟での言語聴覚療法の実施単位数、年齢、入棟時 Functional Independence Measure(FIM)、入棟から経口移行までの日数、入退院時藤島嚥下グレードを用います。

これらの研究は 2024 年 3 月～2025 年 3 月の間に実施します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、入院経過の情報 等

※個人情報等の取り扱いとして、個人が特定される情報は用いません。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 リハビリテーション部

研究責任者 腰塚洋介

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L：0270-27-8813 F A X：0270-24-3359

-----以上